

入門機からツウ好きなダイバーズ、
カレンダーまで幅広くラインナップ



04 EBERHARD エベラルド スカフォグラフィ 300

アンティーククロノグラフにおいてファンからの支持が厚いエベラルドだが、とりわけダイバーズモデルはレア。マットブラックに焼けたトリチウムが強い印象。
■SS (42mm径)。自動巻き。1960年代製。74万8000円



当時のシーマスタ 300で使用されていた、HF社製ケースを採用。ユニークなケース形状のオンリーワンダイバーズだ

03 ROLEX ロレックス デイトジャスト

ビジネスからカジュアルまで幅広く使える、ロレックスのエントリーライン。フルテッドベゼルのエッジがしっかりと残った、状態の良い1本。
■Ref.1601。SS×K18WG (35mm径)。自動巻き (Cal.1570)。1968年製。69万8000円



グレー文字盤がパールにほどよく経年変化。落ち着いた雰囲気。ほかの人と被らない個性を探している方におすすめ

02 BOVET ボヴェ トリプルカレンダー

スイスの名門、ボヴェのカレンダーウォッチで、32mmの小振りなケースにカレンダー機構が詰め込まれている。アンティークウォッチの良さが凝縮されたモデルだ。
■SS (32mm径)。手巻き。1950年代製。17万8000円



文字盤のほか、ケース、ムーブメントの3カ所にブランド名が刻印。これらは「トリプルサイン」と呼ばれるレア個体である

01 LONGINES ロンジン セイタケ

6点式のスクリュバック防水を備える、セイタケモデル。ケース径は35mmと、セイタケモデルとしては大型。文字盤の結核具合もマニア受けのコンディション。
■SS (35mm径)。自動巻き (Cal.12.68N)。1940年代製。48万円



セイタケはステップベゼルが特徴。一見シンプルな装いでありながら立体感を生み出し、クラシックな雰囲気を高めている

横浜の趣ある商店街に店舗を構えるアンティーク専門店

ファイアーキッズが業界の重鎮・野村氏を迎えフルリニューアル

昭和の影が色濃く残る六角橋商店街。この大通りからひとつ入った裏路地に店舗を構えるファイアーキッズは、2022年3月店舗内装を一新したほか、店長も代替わりし、「新生ファイアーキッズ」として再スタートを切った。具体的にどういった点が変わったのか、新店長の野村氏に話を伺ってみた。

構成・文◎松本由紀 (編集部) / 写真◎加藤峰暁、笠井 修 (時計)



(左) 鈴木氏、(右) 野村氏

最高な時計体験が味わえる
お店作りとサービス展開が魅力

今年で創業27周年を迎えるファイアーキッズ。前店長の鈴木氏によって1995年にスタートした、歴史あるアンティークウォッチ専門店であるが、この度リニューアルオープン。小誌としても同店との付き合いは長い。今回なぜリニューアルに至ったのか取材を敢行した。——リニューアルというのは、創業27年にしてファイアーキッズ最大のニュースかと思えます。今回なぜリニューアルを行ったのでしょうか。

新店長・野村氏「時計を見やすい環境にするというのが一番のポイントですね。古いヨーロッパの町並みにあるアンティークの時計屋をイメージし、木目調のクラシックな内装にしました。昔のヨーロッパにタイムトリップしたような気持ちになりながら古い時代の時計を楽

しむ。そんなお店づくりを目指しました。また店長が鈴木から、私に代わったというの大きい変更箇所です」

なぜ野村さんが同店の2代目店長を務めるようになったのでしょうか？

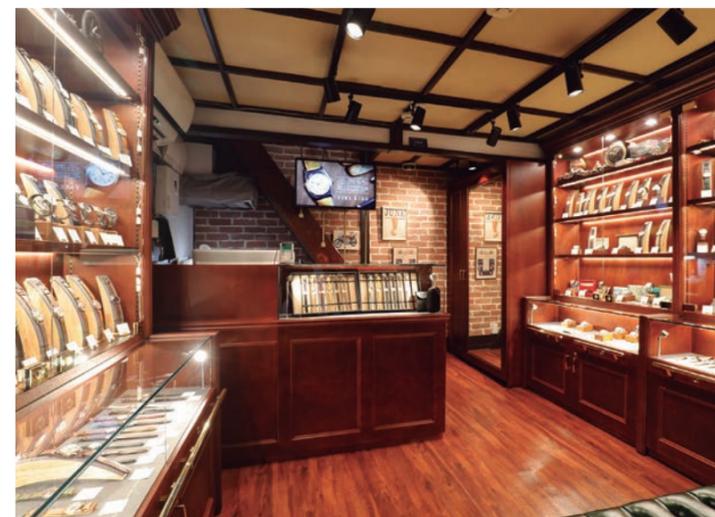
「もともと鈴木と私が旧知の仲でした。私自身もアンティーク業界に身を置いて20年ほどになります。その繋がり、鈴木から『2代目店長は君しかいない』と指名をいただいた(笑)。一転してお店の雰囲気を変え、接客しやすい空間作りをしたいという熱いオファーを受けて参加いたしました」

業界歴20年ですか。鈴木さんとの付き合いも長いわけですね。リニューアルに際して、ほかに変わった大きなポイントはありますか。

「いままでも以上に仕入れに力を入れています。もともと鈴木が仕入れていた商品に加え、今回、私自身が気に入ったモデルも豊富に加えたため、いままでも同店



店内は、以前の昭和レトロのような雰囲気から一転、木目調のクラシックな雰囲気に。またECサイトがある公式HPも同時にリニューアル。時計業界で活躍するライターによるwebマガジンも掲載するそう。まずは気軽に、公式HPをチェックしてほしい



になかったモデルが充実しました。今回、取材でご紹介させていただいている時計はごく一部です。人気ブランドから玄人好みのブランドまで、ご来店いただいたお客様が満足できるような商品構成となっているほか、オリジナル性の高い個体のみを仕入れておりますので、そこも見所ですね」

ガラッと変わった内装や商品ラインナップを見に、店舗に一度足を運んだほうが良いですね。以前から注力していた修理は変わりないでしょうか。

「リシユモンジヤパンに勤めていた修理技術者が参画したほか、保証期間を延長しました。すべての販売商品には1年間

の長期保証をお付けいたします」

内装だけでなく修理やサービスなども一新されたんですね。

「そうですね。また新たに買い戻しシステムも導入しました。当店で販売した商品は、税込み販売価格の80%にて買い戻しをいたします。商品購入後、使ってみて違うなと思ったらお気軽にこのサービスをご利用ください。さらにインスタグラムやツイッター、公式HPの運用も力を入れていきます。新たに入荷した商品はほぼ毎日インターネットにアップしているためぜひのぞいてほしいですね」

店舗に行ってみたくも、と思うようなサービスが充実しましたね。

「商品に付随するサービスを充実させることで利用する際の安心感にもつながりますし、なによりお客様にはアンティークを心から楽しんでほしいという願いから、これらのサービスは実現しています」

アンティークウォッチに精通している野村氏はもちろん、前店長の鈴木氏も変わらず常駐。フレンドリーな接客でユーザーを迎えてくれるため、なんでも気軽に相談してほしい。



SHOP DATA

FIRE KIDS (ファイアーキッズ)
 ■住所 / 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 1-10-12
 ■営業時間 / 10:00 ~ 19:00
 ■定休日 / 月曜日
 ■Instagram / fire_kids_yokohama
 ■URL / https://firekids.jp/
 ■E-MAIL / firekids@r.tulip.sannet.ne.jp
 ■TEL / 045-432-0738